

北東北国立3大学男女共同参画シンポジウムを開催しました

2019年9月26日（木）、岩手大学農学部総合教育研究棟ぼらんホールにおいて、北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウム「今あらためて 女性研究者支援から多様な人材が活かされる大学へ」を開催しました（主催：岩手大学、共催：秋田大学、弘前大学、いわて女性研究者支援ネットワーク）。北東北国立3大学では、3大学間および地域との連携を強化した男女共同参画の推進に取り組んでおり、10周年を迎える今回は、改めて初回と同じテーマを掲げました。当日は3大学をはじめ関係機関などから、約70名が参加しました。

シンポジウムは、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授の江原 由美子 氏による基調講演「多様な人材が活かされる大学へー女性研究者支援からの展開」に始まり、3大学における取組が紹介されたあと、「大学における男女共同参画とダイバーシティ」をテーマとする



パネルディスカッションが行われました。最後にコメンテーターから「大学の活動が地域に与える影響は大きいと感じる。今後も取組内容を発信して欲しい」とのエールがあり、シンポジウムの幕を閉じました。

アンケートでは、参加者のほとんどから「大変参考になった」「参考になった」との評価が得られ、基調講演については「ダイバーシティのあり方や意義が少しはっきりした」「問題の根源がわかった」、取組紹介やパネルディスカッションについては、「今後の展開についての最新情報とリーダーの思いがわかった」「学長・理事レベルから直接発言を聞いたことが興味深かった」などの感想が寄せられました。